

コープ東北  
サンネット  
事業連合

## 「農産物応援ボックス」による 生産者支援

サンネット事業連合（本部・仙台市）では、風評被害に苦しむ福島の生産者支援のため、安全性が確認された農産物を「がんばろう ふくしま！農産物応援ボックス」として、東北6県の宅配で展開しました。初回、6月1週には計画数の約7.3倍、3万2,694箱もの注文をいただきました。この「応援ボックス」は7月4週まで実施しました（累計では12万8,000箱）。ボックスには生産者への応援メッセージを受け付ける用紙を入れており、組合員からの多くのメッセージが生産者に届けられました。（みやぎ生協 総務部兼広報部 五十嵐桂樹）



# 全国に広がる 被災産地・生産者支援の輪

今、全国の多くの生協が、東日本大震災で被災された産直産地や生産者グループの支援に取り組んでいます。一部ですが、その取り組み内容を紹介します。

パルシステム  
連合会

## 支援企画 「“食べる”で支え合う！」に 取り組んでいます

パルシステムグループ10生協では7月3回の宅配から、被災メーカー・産地支援企画「“食べる”で支え合う！」を開始しました。このキャンペーンは、対象商品を購入すると、1点当たり3～50円が、その商品のメーカー・産地への支援金となる取り組みです。8月末現在、対象商品は23品目で、支援金は1,162万円になりました。この取り組みは、取扱商品を順次拡大し、2012年3月まで続ける予定です。

（パルシステム連合会  
うすきなみ  
広報部 白木奈美）



コープ  
ふくしま

## 「福島の桃を贈ろう！ 福島応援隊」

コープふくしまを中心に活動している「地産地消 ふくしまネット」では、原発事故の風評被害を受けている果樹園芸農家を応援すべく、この夏、「福島の桃を贈ろう！福島応援隊」の取り組みを行ないました。7月初めに協賛企業を募ったところ、100社を超える企業から申し出がありました。これら協賛企業や全国の生協関係者からの注文は、7月30日までに1,257箱となり、果樹園芸農家に大きなエールを贈ることができました。その販売代金の一部は、東日本大震災被災者への義援金に充てられています。

（コープふくしま  
店舗部 次長  
なもしげる  
根本茂）



### 「みやぎの生産者応援セール」を開催

コープこうべの店舗では「消費を通じた東北支援」として、6月7日から、みやぎ生協の産直提携産地商品をはじめとした宮城県・岩手産の農産品を販売しています。この取り組みは、組合員からも「生協らしい協同の絆を感じる」と好評です。初回には仕入れ価格で約320万円分の商品を供給。7月16日に第2弾の「みやぎの生産者応援セール」を実施しました。産地状況を確認し、秋に第3弾も計画しています。これからも息の長い被災地生産者の支援に取り組んでいきます。



(コープこうべ 広報室 足立大)

コープ  
こうべ

### 「復興支援1%募金」に取り組めます

コープえひめでは、こうち生協、とくしま生協とともに、商品カタログ『リブレ』の9月1回から2012年3月4回まで、「復興支援1%募金」キャンペーンを行ないます。この取り組みでは、生協と主要取引先との折半で、対象商品の供給高の1%を東日本大震災への復興支援として募金します。また、中国四国の9生協(CSネット)とともに、非食品カタログ『キャロット』でのご利用1点につき、1円を募金する取り組みも行なっています。

(コープえひめ 運営企画部 濱野幸代)



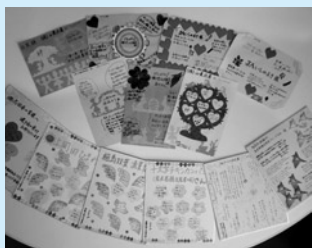
コープ  
えひめ

### 被災産地へ「応援・激励メッセージ」を!

ララコープ(長崎県)では、日本生協連からの呼び掛けに応え、被災された産直産地・生産者グループに「応援・激励メッセージ」を送る活動※に取り組めました。各エリア委員会からは色紙12枚とパネル1枚に書かれたメッセージが、組合員理事からはメッセージ入りのポケットティッシュ1,505個が寄せられました。その中には、「遠い長崎にいても、心は一つ」という想いが数多く書かれていました。また職員たちからも、多くの寄せ書きが集まりました。これらは6月末に、産地・生産者グループへと届けられました。

※(編集部注)この活動には、ララコープを含め全国12生協にご協力いただきました。

(ララコープ 組合員活動室長 前田正人)



ララコープ

### 「ボランティアバス」で産地復興を支援

大阪いずみ市民生協では、みやぎ生協のコーディネートで、宮城県南三陸町への「ボランティアバス」を2回運行しました。その2回目、6月24～26日の活動では、みやぎ生協の産直提携先である志津川漁協のかき養殖復興支援として、養殖いかだの鍾(おもり)に使用する土のう作り(袋の中身は小石など)に参加しました。生協の参加者32人を含む総勢100人近いボランティアが協力し、1日で約1,500個の土のうを作ることができました。

(大阪いずみ市民生協 組織部 藤井三良)

大阪  
いずみ市民  
生協



### 店舗と宅配で被災産地を支援



ユーコープ事業連合(本部・横浜市)の会員生協店舗では、毎月月末の1週間、被災地産の商品の売上の1%を、被災地への募金とする「被災地支援キャンペーン」を行なっています。また、宅配では「たべる、で、ささえる。」を掲げ、支援キャンペーンを行なっています。6月2回企画では、産直「茶美豚(チャーミーポーク)」を生産しているJAいわて花巻の生産者にご登場いただき、利用を呼び掛けてもらったところ4万3,320点の利用がありました。

(ユーコープ事業連合 広報課 三枝みさ子)

ユーコープ  
事業連合